

循環器内科



部長
診療科長
赤尾 昌治

専門医資格等 日本循環器学会認定循環器専門医、近畿支部評議員
日本内科学会認定内科医、指導医、近畿支部評議員
日本心電学会評議員
京都大学臨床教授
京都大学非常勤講師

専門分野 心房細動、不整脈、臨床疫学、医学教育

□ スタッフ

平成26年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長 カテ室チーフ 医療安全管理副部長	阿部 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医・指導医 日本心血管インターベンション治療学会専門医・指導医	心臓カテーテル検査・治療、造影剤腎症、医学統計	
医 長 CCUチーフ	益永 信豊	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会認定医	冠動脈カテーテル治療、末梢動脈カテーテル治療、大動脈ステントグラフト治療	
医 師 不整脈チーフ	小川 尚	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	不整脈、電気生理、カテーテルアブレーション治療、デバイス治療	
医 師	井口 守丈	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	心不全、循環器領域の画像診断	
医 師	石井 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	狭心症・心筋梗塞・閉塞性動脈硬化症などのインターベンション、循環器全般	
医 師	鷓木 崇	日本内科学会認定内科医	心臓救急、心肺停止蘇生、低体温療法、虚血性心疾患	
医 師	濱谷 康宏	日本内科学会認定内科医	循環器一般	
医 師	山下 侑吾	日本内科学会認定内科医	虚血性心疾患・不整脈・心不全・肺循環疾患・救急一般	
医 師	高木 大輔		循環器一般	
展開医療研究部部長	長谷川浩二	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医専門医 アメリカ心臓協会専門医 (FAHA) アメリカ心臓病学会専門医 (FACC) 日本禁煙科学会認定 禁煙支援医	心不全、虚血性心疾患、心血管危険因子管理・特に禁煙指導、心血管展開医療研究	
展開医療研究部室長	和田 啓道	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	循環器学、リスクファクター管理、予防医学	
医 長	中島 康代	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 総合内科専門医・指導医	循環器一般、心臓リハビリテーション	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本循環器学会認定循環器研修施設 日本心血管インターベンション治療学会認定教育施設 日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設
-------	---

診療科モットー:「地域、世界、そして将来に貢献する循環器内科」

1. 「地域」: 命を守る責任感をもって、信頼される地域医療を提供すること
2. 「世界」: より良い医療を探求する情熱を持ち、世界に向けて情報発信すること
3. 「将来」: 指導者として人を教え育て、学習者として人から学び成長すること

「地域」は診療、「世界」は研究、「将来」は教育をあらわしています。診療・研究・教育の3本柱は、それぞれが互いを刺激して高めあう関係にあります。この3本柱がバランス良くしかも高いレベルで達成されていること、これが我々の診療科の目指す姿であり、また課せられた使命であると考えています。

□ 主な対象疾患

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)
不整脈
心不全、心原性ショック
心筋症、心筋炎
心臓弁膜症
感染性心内膜炎

心膜疾患、心タンポナーデ
高血圧
大動脈瘤、大動脈解離
閉塞性動脈硬化症
静脈血栓症
肺塞栓症

□ 診療(業務)内容

心臓、血管系の疾病全般を扱っています。専門性に偏ることなく、バランスの取れた診療を行っていくよう、常に心がけています。冠動脈疾患に対するカテーテル検査・治療が当科診療の中心です。知識も技術もともに“世界に通用する心臓カテーテル検査と治療”を提供するべくスタッフ全員で日夜頑張っております。これに加えて、2009年から下肢閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療(PTA)を、また2010年から心房粗動・発作性上室性頻拍のカテーテルアブレーションを開始しました。2011年1月の新病棟落成にあわせて、CCU、心臓リハビリテーションが開始となり、さらに4月からは256列冠動脈CTが導入され、6月からは心臓外科の開設によって開心術が開始されました。開心術の開始により、重症不整脈患者を対象とした植込型除細動器(ICD)、重症心不全患者を対象とした心臓再同期療法(両心室ペースメーカー)の実施施設基準を取得し、治療を開始しています。2014年9月8日には、心臓カテーテル検査室が移転、新装オープンし、「心血管治療センター」として稼働を開始しました。最新鋭のレントゲン透視装置で鮮明な画像が得られるため、より正確な診断と、より確実な治療が行えます。放射線の被ばく量も減少させることができます。より安全確実に、そして清潔で快適な環境で、患者さんに検査や治療を受けて頂けるよう、そしてさらにレベルの高い医療を提供して地域に貢献できるよう、スタッフ一同精進してまいります。さらに高度先進医療を積極的に推進し、心臓・血管系の疾病でお困りの皆さんに少しでもお役に立ちたいと願っています。今後とも何卒ご指導とご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。また、当科ではつねに多くの臨床研究や、新しい薬剤や医療機器の治験をおこなっており、より有効性・安全性の高い医療を求めて積極的に研究活動を行っています。とくに、当科が中心となって行っております「伏見心房細動患者登録研究(伏見AFレジストリ)」は、日本の実臨床の現場における心房細動患者の実態を反映するデータとして、全国の注目を集めております。

□ 診療実績(平成26年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
27.8名	1,128名	8.9日

外来患者数

1日平均患者数
69.1名

主な手術・検査の件数など

冠動脈カテーテル治療	冠動脈カテーテル検査	下肢動脈カテーテル治療	カテーテルアブレーション
313件	712件	35件	10件

ペースメーカー植込
45件

□ 地域医療連携・広報活動

第7回伏見心血管病勉強会「心不全チーム医療」平成26年10月9日

第2回伏見AFネットワークミーティング 平成27年3月21日

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

学会名	演題	演者
日本神経学会東海北陸地方会ランチョンセミナー 平成26年7月5日(土)、名古屋市	特別講演「抗凝固薬のunderuseとunderdose～伏見AFレジストリからの考察」	赤尾 昌治
日本動脈硬化学会シンポジウム「血栓症(抗血栓薬の使い方)」 平成26年7月10日(木)、東京	シンポジウム講演「心房細動患者に対する抗凝固療法の実態:伏見AFレジストリから」	赤尾 昌治
第117回日本循環器学会近畿地方会 平成26年7月12日(土)	Lower common pathwayを伴ったleft variant type AVNRTに対しカテーテルアブレーションを行った一例 1)国立病院機構京都医療センター 循環器内科 2)京都大学医学部附属病院 循環器内科 3)国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター 展開医療研究部	小川 尚1)、高橋 昌宏1)、後藤 貢士2)、高木 大輔1)、濱谷 康弘1)、山下 侑吾1)、高林 健介1)、鶴木 崇1)、石井 充1)、井口 守丈1)、益永 信豊1)、中島 康代1)、和田 啓道3)、長谷川 浩二3)、阿部 充1)、赤尾 昌治1)
第117回日本循環器学会近畿地方会 平成26年7月12日(土)	甲状腺クリーゼに対して短時間作用型β遮断薬が有効であった一例 国立病院機構京都医療センター循環器内科1) 同臨床研究センター展開医療研究部2)	山下 侑吾1)、井口 守丈1)、高木 大輔1)、濱谷 康弘1)、高林 健介1)、鶴木 崇1)、石井 充1)、小川 尚1)、益永 信豊1)、中島 康代1)、和田 啓道2)、長谷川 浩二2)、阿部 充1)、赤尾 昌治1)
第117回日本循環器学会近畿地方会 平成26年7月12日(土)	全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群に合併した冠動脈疾患の一例 1)国立病院機構 京都医療センター 循環器内科 2)同臨床研究センター	濱谷 康弘1)、小川 尚1)、阿部 充1)、鶴木 崇1)、高木 大輔1)、山下 侑吾1)、石井 充1)、井口 守丈1)、益永 信豊1)、中島 康代1)、和田 啓道2)、長谷川 浩二2)、赤尾 昌治1)
第117回日本循環器学会近畿地方会 平成26年7月12日(土)	低左心機能による心原性脳梗塞を来したと考えられる拡張型心筋症の一例 1)国立病院機構京都医療センター 循環器内科 2)同 神経内科 3)同 臨床研究センター 展開医療研究部	高木 大輔1)、小川 尚1)、中村 道三2)、濱谷 康弘1)、山下 侑吾1)、高林 健介1)、鶴木 崇1)、石井 充1)、井口 守丈1)、益永 信豊1)、中島 康代1)、和田 啓道3)、長谷川 浩二3)、阿部 充1)、赤尾 昌治1)
日本循環器病予防学会ランチョンセミナー 平成26年7月20日(日)、京都市	特別講演「心房細動治療におけるβ遮断薬使用の現状～伏見AFレジストリからの考察」	赤尾 昌治
日本心電学会・不整脈学会合同学術集会 平成26年7月23日(水)、東京	Anti-arrhythmic drugs did not reduce progression from paroxysmal to sustained atrial fibrillation: From the Fushimi AF Registry.	Hisashi Ogawa, Yugo Yamashita, Yasuhiro Hamatani, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Stroke or systemic embolism in atrial fibrillation with renal insufficiency: from the Fushimi AF registry	Mitsuru Abe, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Moritake Iguchi, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Masaharu Akao.

European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Baseline Characteristics and Clinical Outcomes of patients with Atrial Fibrillation undergoing Catheter Ablation: From the Fushimi AF Registry.	Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Tetsuo Hashimoto, Mitsuru Abe, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	The relationship between left atrial enlargement and incidence of stroke in patients with atrial fibrillation: From the Fushimi AF registry.	Yasuhiro Hamatani, Daisuke Takagi, Moritake Iguchi, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	The relationship between left atrial enlargement and incidence of heart failure in patients with non-valvular atrial fibrillation: From the Fushimi AF registry.	Yasuhiro Hamatani, Kensuke Takabayashi, Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Diabetes mellitus may not be a risk of stroke in Japanese patients with atrial fibrillation: From the Fushimi AF Registry.	Mitsuru Ishii, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji, Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	The clinical characteristics and the risk of bleeding in atrial fibrillation patients receiving anti-platelet drugs: One-year follow-up of the Fushimi AF Registry.	Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Moritake Iguchi, Kensuke Takabayashi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji, Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	One-year outcomes of Japanese atrial fibrillation patients with vascular disease: From the Fushimi AF Registry.	Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Mitsuru Ishii, Takashi Unoki, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji, Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Anti-arrhythmic drugs did not reduce progression from paroxysmal to sustained atrial fibrillation: From the Fushimi AF Registry	Hisashi Ogawa, Yugo Yamashita, Takashi Unoki, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Female gender may not be a risk of stroke in Japanese patients with atrial fibrillation: From the Fushimi AF Registry	Hisashi Ogawa, Kensuke Takabayashi, Takashi Unoki, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Incidence of hospitalization for heart failure in atrial fibrillation patients with anemia: One-year follow-up of the Fushimi AF Registry.	Kensuke Takabayashi, Daisuke Takagi, Yasuhiro Hamatani, Takashi Unoki, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Incidence of hospitalization for heart failure in patients with paroxysmal and sustained type of atrial fibrillation: One-year follow-up of the Fushimi AF Registry.	Kensuke Takabayashi, Yugo Yamashita, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Clinical characteristics of young atrial fibrillation patients: From one-year follow-up of the Fushimi AF Registry.	Daisuke Takagi, Yugo Yamashita, Yasuhiro Hamatani, Kensuke Takabayashi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Clinical characteristics and one-year outcomes of atrial fibrillation patients under rate- or rhythm-control strategy: From the Fushimi AF Registry	Takashi Unoki, Kensuke Takabayashi, Yugo Yamashita, Yasuhiro Hamatani, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Clinical characteristics and one-year outcomes of atrial fibrillation patients with versus without a previous stroke: From one-year follow-up of the Fushimi AF Registry.	Yugo Yamashita, Daisuke Takagi, Yasuhiro Hamatani, Kensuke Takabayashi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
European Society of Cardiology Congress 2014, Barcelona, Spain. 2014.8.30-9.3.	Stroke and bleeding in super-elderly patients with atrial fibrillation: From one-year follow-up of the Fushimi AF Registry.	Yugo Yamashita, Daisuke Takagi, Yasuhiro Hamatani, Kensuke Takabayashi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第205回日本内科学会近畿地方会 平成26年9月20日(土)	心房粗動に対するカテーテルアブレーション施行後に心嚢水貯留を来たステロイド投与が有効だった一例 国立病院機構京都医療センター循環器内科1) 同呼吸器科2) 京都大学医学部付属病院循環器内科3)	沈 載紀1)、小川 尚1)、益永 信豊1)、金井 修2)、濱谷 康弘1)、山下 侑吾1)、井口 守丈1)、後藤 貢士3)、阿部 充1)、赤尾 昌治1)
第205回日本内科学会近畿地方会 平成26年9月20日(土)	失神をきたした冠攣縮性狭心症の一例 国立病院機構京都医療センター循環器内科1) 同臨床研究センター-展開医療研究部2)	廣嶋 佳歩1)、阿部 充1)、山下 侑吾1)、小川 尚1)、高木 大輔1)、鶴木 崇1)、石井 充1)、益永 信豊1)、長谷川 浩二2)、赤尾 昌治1)

第205回日本内科学会近畿地方会 平成26年9月20日(土)	薬剤性QT延長症候群からtorsades de pointesを来した高齢女性の一例 国立病院機構京都医療センター循環器内科1) 同臨床研究センター展開医療研究部2)	柴田 康弘1)、小川 尚1)、井口 守丈1)、高木 大輔1)、濱谷 康弘1)、石井 充1)、中島 康代1)、和田 啓道2)、阿部 充1)、赤尾 昌治1)
American Heart Association Scientific Sessions 2014, Chicago, USA. 2014.11.	Female gender is not a risk of various adverse events in Japanese patients with atrial fibrillation: From the Fushimi AF Registry	Hisashi Ogawa, Yasuhiro Hamatani, Takashi Unoki, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao
American Heart Association Scientific Sessions 2014, Chicago, USA. 2014.11.	Digitalis is not associated with increased mortality in Japanese patients with atrial fibrillation: From the Fushimi AF Registry	Hisashi Ogawa, Daisuke Takagi, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao
American Heart Association Scientific Sessions 2014, Chicago, USA. 2014.11.	Validation of a risk score for hospitalization for heart failure in atrial fibrillation patients: From the Fushimi AF registry	Moritake Iguchi, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao
American Heart Association Scientific Sessions 2014, Chicago, USA. 2014.11.	Low body weight is significantly associated with the incidence of stroke in atrial fibrillation patients. Insight from the Fushimi AF Registry.	Yasuhiro Hamatani, Hisashi Ogawa, Moritake Iguchi, Yugo Yamashita, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao
American Heart Association Scientific Sessions 2014, Chicago, USA. 2014.11.	Incidence of stroke or systemic embolism in paroxysmal versus sustained atrial fibrillation: From the Fushimi AF Registry	Kensuke Takabayashi, Yasuhiro Hamatani, Mitsuru Ishii, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao
第118回日本循環器学会近畿地方会 平成26年11月29日(土)	当院に於ける静脈血栓症に対する下大静脈フィルターの使用実態調査 国立病院機構京都医療センター循環器内科1) 同臨床研究センター展開医療研究部2)	山下 侑吾1)、鶴木 崇1)、高木 大輔1)、濱谷 康弘1)、石井 充1)、井口 守丈1)、小川 尚1)、益永 信豊1)、中島 康代1)、和田 啓道2)、長谷川 浩二2)、阿部 充1)、赤尾 昌治1)
第118回日本循環器学会近畿地方会 平成26年11月29日(土)	巨大左房内血栓を認めた心房細動合併透析患者の一例 国立病院機構 京都医療センター循環器内科1) 同 血管外科2) 同 心臓外科3)	小川 尚1)、山下 侑吾1)、吉良 浩勝2)、片岡 剛3)、白神 幸太郎3)、浅田 秀典2)、高木 大輔1)、濱谷 康弘1)、鶴木 崇1)、石井 充1)、井口 守丈1)、益永 信豊1)、中島 康代1)、和田 啓道4)、長谷川 浩二4)、阿部 充1)、赤尾 昌治1)
第118回日本循環器学会近畿地方会 平成26年11月29日(土)	心窩部痛とST上昇を呈しカペシタピン関連心筋障害を疑った結腸癌の一例 1)国立病院機構京都医療センター循環器内科 2)同臨床研究センター展開医療研究部	高木 大輔1)、石井 充1)、小川 尚1)、濱谷 康弘1)、山下 侑吾1)、鶴木 崇1)、井口 守丈1)、益永 信豊1)、中島 康代1)、和田 啓道 2)、長谷川 浩二 2)、阿部 充1)、赤尾 昌治1)
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Antithrombotic Therapies and Clinical Outcomes of Patients with Atrial Fibrillation and History of Coronary Intervention: From the Fushimi AF Registry (シンポジウム講演)	Mitsuru Abe, Takashi Unoki, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Exploration of predictors for stroke and systemic embolism in Japanese patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Masaharu Akao, Satoshi Morita, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Relationship between Creatinine Clearance and Clinical Outcomes in Patients with Atrial Fibrillation: From the Fushimi AF Registry	Mitsuru Abe, Hisashi Ogawa, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Clinical Characteristics and Mid-term Outcome of Atrial Fibrillation Patients under Rate- or Rhythm-control Strategy: From the Fushimi AF Registry.	Masahiro Esato, Takashi Unoki, Yeong-Hwa Chun, Tetsuo Hashimoto, Mitsuru Abe, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Impact of overweight on the incidence of stroke or systemic embolism in Japanese atrial fibrillation patients: The Fushimi AF Registry.	Yasuhiro Hamatani, Daisuke Takagi, Yugo Yamashita, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Incidence and predictors of ischemic stroke during hospitalization for heart failure: A single-center retrospective analysis.	Yasuhiro Hamatani, Moritake Iguchi, Michikazu Nakamura, Yugo Yamashita, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Predictors for stroke and death in non-anticoagulated Japanese patients with atrial fibrillation: from the Fushimi AF Registry.	Yasuhiro Hamatani, Daisuke Takagi, Yugo Yamashita, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Gregory Y.H. Lip, Masaharu Akao.

第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Validation of a risk score for hospitalization for heart failure in atrial fibrillation patients: From the Fushimi AF registry.	Moritake Iguchi, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	The impact of systolic heart failure on the outcome in atrial fibrillation patients: From the Fushimi AF registry.	Moritake Iguchi, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Hypertension is not a risk of stroke in Japanese patients with atrial fibrillation: From the Fushimi AF Registry.	Mitsuru Ishii, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Current status of pre-operative cardiovascular evaluation and perioperative complications in patients undergoing non-cardiac surgery.	Mitsuru Ishii, Takashi Unoki, Daisuke Takagi, Yugo Yamashita, Yasuhiro Hamatani, Moritake Iguchi, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Bleeding Risk in Atrial Fibrillation Patients Receiving Concomitant Use of Oral Anticoagulant and Anti-platelet Drug: The Fushimi AF Registry.	Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Abe, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Clinical outcomes of Japanese atrial fibrillation patients with concomitant vascular disease: From the Fushimi AF Registry.	Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Abe, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Digitalis is Not Associated with Increased Mortality in Japanese Patients with Atrial Fibrillation: From the Fushimi AF Registry.	Hisashi Ogawa, Daisuke Takagi, Takashi Unoki, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Progression from Paroxysmal to Sustained Atrial Fibrillation is Associated with Increased Adverse Events: From the Fushimi AF Registry.	Hisashi Ogawa, Yuugo Yamashita, Yasuhiro Hamatani, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Impacts of electrocardiographic findings on mortality in patients with atrial fibrillation: Insights from the Fushimi AF Registry.	Hiroaki Sugiyama, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Prognostic significance of fine fibrillatory wave on surface electrocardiogram: The Fushimi AF Registry.	Hiroaki Sugiyama, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Lower risk of stroke in patients with paroxysmal type of atrial fibrillation compared with sustained type: The Fushimi AF Registry.	Kensuke Takabayashi, Yasuhiro Hamatani, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Incidence of stroke or systemic embolism in young patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Daisuke Takagi, Yasuhiro Hamatani, Yugo Yamashita, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Greater cardio-thoracic ratio as a risk of stroke or systemic embolism in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF registry.	Daisuke Takagi, Yasuhiro Hamatani, Yugo Yamashita, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Comparison between the Quantitative and Qualitative Assay of Troponin for the Long-term Clinical Outcomes in Patients with Suspected Acute Coronary Syndrome.	Daisuke Takagi, Takashi Unoki, Hamatani Yasuhiro, Yugo Yamashita, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Year-to-year change in oral anticoagulant therapies of patients with atrial fibrillation in the real-world: The Fushimi AF Registry.	Yugo Yamashita, Daisuke Takagi, Yasuhiro Hamatani, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会総会、大阪 2015.4.24-26	Clinical characteristics and outcomes of atrial fibrillation patients with versus without a previous stroke: From the Fushimi AF Registry.	Yugo Yamashita, Daisuke Takagi, Yasuhiro Hamatani, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会ランチョンセミナー16 平成27年4月24日(金)、大阪	講演「クレアチニンクリアランスからNOAC適正使用を考える」	赤尾 昌治
第79回日本循環器病学会学術集会ランチョンセミナー54 平成27年4月26日(日)、大阪	講演「NOAC前夜、そして登場後の抗凝固療法～伏見AFレジストリからの考察」	赤尾 昌治

□ 投稿論文など

タイトル・著書・雑誌名	著者
Inappropriate use of oral anticoagulants for patients with atrial fibrillation: One-year outcomes of the Fushimi AF Registry.Circ J. 2014; 78: 2166-72.	Akao M, Chun YH, Esato M, Abe M, Tsuji H, Wada H, Hasegawa K, on behalf of the Fushimi AF Registry Investigators.
Atrial fibrillation and coronary artery disease: Resembling twins?J. Cardiol. 2014; 63: 169-170.	Akao M.
Relation of Contrast-Induced Nephropathy to Long-Term Mortality After Percutaneous Coronary Intervention Am J Cardiol. 2014;114(3):362-8.	Abe M, Morimoto T, Akao M, Furukawa Y, Nakagawa Y, Shizuta S, Ehara N, Taniguchi R, Doi T, Nishiyama K, Ozasa N, Saito N, Hoshino K, Mitsuoka H, Toma M, Tamura T, Haruna Y, Kita T, Kimura T.
A case of delayed complete atrioventricular block and cardiac arrest after percutaneous coronary intervention of left anterior descending coronary artery.Cardiovasc Interv Ther. 2014; 29: 270-4.	Yasuhiro Hamatani, Takashi Unoki, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
Incidence and Outcome of Surgical Procedures After Coronary Artery Bypass Grafting Compared With Those After Percutaneous Coronary Intervention: A Report From the Coronary Revascularization Demonstrating Outcome Study in Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2.Circ Cardiovasc Interv. 2014;7:482-91.	Tokushige A, Shiomi H, Morimoto T, Ono K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota K, Ando K, Shizuta S, Tada T, Tazaki J, Kato Y, Hayano M, Abe M, Hamasaki S, Ohishi M, Nakashima H, Mitsudo K, Nobuyoshi M, Kita T, Imoto Y, Sakata R, Okabayashi H, Hanyu M, Shimamoto M, Nishiwaki N, Komiya T, Kimura T; CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2 Investigators.
Long-term clinical outcomes after everolimus- and sirolimus-eluting coronary stent implantation: final 3-year follow-up of the randomized evaluation of sirolimus-eluting versus everolimus-eluting stent trial. Circ Cardiovasc Interv. 2014 Jun;7(3):343-54.	Shiomi H, Kozuma K, Morimoto T, Igarashi K, Kadota K, Tanabe K, Morino Y, Akasaka T, Abe M, Suwa S, Muramatsu T, Kobayashi M, Dai K, Nakao K, Uematsu M, Tarutani Y, Fujii K, Simonton CA, Kimura T; RESET Investigators.
Noninvasive regional cerebral oxygen saturation for neurological prognostication of patients with out-of-hospital cardiac arrest: a prospective multicenter observational study. Resuscitation. 2014 Jun;85(6):778-84.	Ito N, Nishiyama K, Callaway CW, Orita T, Hayashida K, Arimoto H, Abe M, Endo T, Murai A, Ishikura K, Yamada N, Mizobuchi M, Anan H, Okuchi K, Yasuda H, Mochizuki T, Tsujimura Y, Nakayama T, Hatanaka T, Nagao K; J-POP Registry Investigators.
Late adverse events after implantation of sirolimus-eluting stent and bare-metal stent: long-term (5-7 years) follow-up of the Coronary Revascularization Demonstrating Outcome study-Kyoto registry Cohort-2.PCI/CABG registry cohort-2 investigators.Circ Cardiovasc Interv. 2014 Apr;7(2):168-79.	Natsuaki M, Morimoto T, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota K, Yamaji K, Ando K, Shizuta S, Shiomi H, Tada T, Tazaki J, Kato Y, Hayano M, Abe M, Tamura T, Shirohani M, Miki S, Matsuda M, Takahashi M, Ishii K, Tanaka M, Aoyama T, Doi O, Hattori R, Kato M, Suwa S, Takizawa A, Takatsu Y, Shinoda E, Eizawa H, Takeda T, Lee JD, Inoko M, Ogawa H, Hamasaki S, Horie M, Nohara R, Kambara H, Fujiwara H, Mitsudo K, Nobuyoshi M, Kita T, Kimura T; CREDO-Kyoto
Response of urinary liver-type fatty acid-binding protein to contrast media administration has a potential to predict one-year renal outcome in patients with ischemic heart disease. Heart Vessels. 2014 Feb 20. [Epub ahead of print]	Fujita D, Takahashi M, Doi K, Abe M, Tazaki J, Kiyosue A, Myojo M, Ando J, Fujita H, Noiri E, Sugaya T, Hirata Y, Komuro I.
高齢者心房細動の特徴とその疫学 Medicament News. 2014; 2150: 5-6.	山下 侑吾、赤尾 昌治
From the World Conference: AHA (米国心臓学会) 2013 Cardio-Coagulation. 2014; 1: 66-67.	赤尾 昌治
心房細動の疫学 循環器内科. 2014; 75(5): 440-445.	赤尾 昌治
不整脈と生命予後 Heart View. 2014; 18(7): 20-26.	濱谷 康弘、赤尾 昌治
新規経口抗凝固薬の導入によって何が変わったか - Fushimi AF Registryから脳梗塞と心房細動. 2014; 1: 15-19.	赤尾 昌治
新規抗凝固薬 (NOAC) と高齢者心房細動 循環器内科. 2014; 76: 325-330.	小川 尚、赤尾 昌治
心房細動の疫学 循環器内科. 2014; 75(5): 440-445.	赤尾 昌治
脳塞栓予防としての透析患者へのワルファリン使用可否 日本医事新報. 2014; 4707: 58-59.	赤尾 昌治
心房細動の疫学 -相手の現状と動向を知る- Medical Practice. 2014; 31(10): 1546-1551.	赤尾 昌治
抗凝固薬の効果における男女差 成人病と生活習慣病. 2014; 44(11):	小川 尚、赤尾 昌治
高齢者における抗凝固療法の現状と課題 Geriatric Medicine (老年医学). 2014; 52(12): 1415-1419.	山下 侑吾、赤尾 昌治
ミトコンドリア異常によるエネルギー枯渇と心不全の密接な関係 Circulation Up-To-Date Books「臨床心不全の基礎知識」	井口 守丈、赤尾 昌治
高齢者の心房細動、抗凝固療法を行うべきか 単行本「不整脈診療を今こそ本音で語ろう」(南山堂)	赤尾 昌治
リパーロキサパンを知る 単行本「不整脈治療update」(第3巻) (医薬ジャーナル社)	赤尾 昌治
心原性脳塞栓症リスク評価と抗凝固薬 単行本「Annual Review循環器2015」(中外医学社)	赤尾 昌治
1.心臓カテーテル検査の背景と検査室 3-1.造影剤と造影剤腎症 単行本「改訂版 心臓カテーテル検査の基本とコツ」(羊土社)	阿部 充